

「社会データの収集・解析・活用と倫理」 Call for Papers

<http://www.bunrui.jp/journal.html>

特集 社会データの収集・解析・活用と倫理

日本分類学会編集委員会では、学会誌「データ分析の理論と応用」における特集「社会データの収集・解析・活用と倫理」の原稿を受け付けます。

社会を多様な実証的データに基づいて研究する研究では、広範かつ複雑な事象の分類、記述、説明、予測を目的としてデータ分析が広く用いられ、政策提言へ繋がる努力がなされてきました。近年は、さまざまなデータが蓄積されて利用可能になり、また、より複雑で多様なデータやモデルを柔軟に分析できる手法が開発され、普及してきています。他方で、IT 技術の急速な発達でいわゆる「ソーシャル・ビッグデータ」なるものの出現が見られ産業振興のための活用の期待と、既存のデータとの間の異種間データ連携で個人情報の特特定化に関する法的・倫理的課題も浮かんできました。

本特集では、社会学的研究におけるデータ収集や解析手法のモデル、公開されている調査データの2次分析、ソーシャル・ビッグデータ等の異種間データ連携の例や課題等について、投稿を募集します。多数の投稿が寄せられますことを期待します。特に、多少荒削りでも、真摯に社会的課題を取り上げ、その解決への提言や啓蒙を図る意欲ある論文を歓迎いたします。

なお、投稿は特集でない投稿と同じ形式、手順および判断基準で採否を決定いたします。

投稿期限：2018年7月末日 発行：2019年4月(予定)

投稿宛先：bda-bigsubmit@bunrui.jp

特集「社会データの収集・解析・活用と倫理」の担当編委員

東洋英和女学院大学 林文(名誉教授)

問い合わせ先：bda-bigsubmit@bunrui.jp

なお、以下の費用は投稿者の負担になります。

- ・ LaTeX 以外の形式で、例えば、MS Word で投稿した場合に LaTeX 形式に変換するために発生する費用
- ・ カラーの図表も可能ですが、そのために発生する費用
- ・ 本文は、英文要旨を含み、原則 10 ページ以内です。10 ページを超える場合は、そのために発生する費用

詳しくは以下を参照して下さい。

投稿規定：<http://bunrui.jp/JCSJournal/rule.pdf> 執筆

要項：<http://bunrui.jp/JCSJournal/guideline.pdf>